

海老名市立東柏ケ谷小学校 学校運営協議会 議事録
(令和4年度 第5回)

- 1 日時 令和4年12月5日(月) 15:30～
- 2 場所 海老名市立東柏ケ谷小学校 ランチルーム
- 3 出席委員 橋本絵美里副委員長, 佐藤充明副委員長, 海野望委員, 長井徹委員
小山内清潤委員, 柳下泰介委員, 二見吉男委員, 瀬戸口壮委員
小池一美委員, 守谷美子委員, 佐藤孝男委員, 工藤真委員, 國吉聖委員
塚原勲委員, 小林丈記校長

4 会議の内容

(1) 小話タイムテーマ:「市民レクリエーション、どのように開催する?」

小グループに分かれて協議を行ったあと、話し合った内容を全体で共有した。

佐々木教諭:綱引き、二人三脚、教員のリレーなどを運動会の協議後に行う。

奥田教頭:綱引き。道具が少なく、一度に大勢が参加できる。人数調整がしやすい。

工藤委員:玉入れ、ボール送りなどがよい。綱引きは人との距離が近くなる。

小林校長:大縄。どのようにしたら実施ができるのかを考えていきたい。

二見委員:4丁目のHPに過去3年間の写真が掲載されている。

佐藤委員:借り物競走。

小山内委員:運動会の取れる時間によってできる種目が変わる。

(2) はじめに

橋本副委員長:急に寒くなりましたがお体は大丈夫でしょうか。今日は議題が多くあるが、活発なご意見をいただきたい。

(3) 学校長より

小林校長:遠足や修学旅行、野外教育活動、東柏学習交流会など、2学期は行事が盛りだくさんだった。ご協力いただきありがとうございました。

(4) 柏ケ谷中学校区学校運営協議会について

小林校長:現状とこれからできることをお話ししていただきたい。

佐々木教諭:元気な挨拶を固定概念で決めつけている。挨拶が得意な人もいれば、苦手な人もいるので挨拶をするよさや大切さを伝えていくのがよい。

「顔見知りを増やして行こうキャンペーン」としてビブスを着て地域の人とわかるようにするとよい。

奥田教頭：あいさつの缶バッチの再確認していく必要がある。言われてやるのではなく、子どもたち発信で活動していけたらよい。

工藤委員：「缶バッチをしている人に挨拶しようキャンペーン」として親同士のコミュニケーションを増やしていくと子どもたちのかかわりも増えていく。

小林校長：缶バッチの再認識をしていく必要がある。

佐々木教諭：地域全体で盛り上げていくという話が全グループで出た。柏ヶ谷中学校区学校運営協議会で共有していきたい。

(5) 防犯モデル地区について

柳下委員：市から東柏ヶ谷の4自治会で防犯モデル地区をつくりたい。令和5年度の1～3年生とともに実施していきたい。子どもたちにも、地域の防災意識を高めてもらいたい。

小山内委員：子どもたちと一緒にやることはよい。

二見委員：同じくよい。

小林校長：自治会で協力して子どもたちの安全を見守っていただけることはありがたい。職員も放課後に下校パトロールをしている。あいさつができる場をつくることにもつながる。

(6) 全国学力学習状況調査について

杉山教諭：全国学力学習状況調査は毎年4月に6年生が実施している。教科のテスト以外にも質問紙での回答もある。「生活について」が主に地域とのかかわりになっている。

課題 自己肯定感が低い児童が多い。

佐々木教諭：自己肯定感を高めるために地域でできることを考えていきたい。

小林校長：子どもたちに帰り道等で言葉かけをしていただけるとありがたい。学力向上のためにもエールをいただきたい。今後もよろしくお願いします。

佐々木教諭：書くことへの課題については、短文で書いてみることや読み物を読むことで語彙を豊かにしていく必要がある。

奥田教頭：スマートフォンの使い方のルールを守っていく必要がある。

工藤委員：コロナ前はCSルームで九九を聞いてもらっていた。同じ形でなくても復活させたい。

佐藤委員：「困っている子を助けている」にもかかわらず、自信がない、自己肯定感が低いというのが悲しい。知っている人には挨拶ができるが、知らない人にはなかなか難しい。

(7) 学校いじめ防止基本方針について

天野教諭：いじめについて学校では以下のように対応している。子どもたちが嫌な思いをしたことがあったときには、担任だけが話を聞くのではなく学年や児童指導担当、管理職などチームで対応していくようにしている。また、年度をまたいでも継続して見ていくようにしている。現状としては、放課後の過ごし方、インターネットの使い方についての相談が増えてきており、懇談会などで保護者にも周知している。嫌な思いをしたことについてはいじめの案件としてカウントするようにしているため、全国的にいじめが少しずつ増えており、本校も少しずつ増えてきている。。子どもたちの少しの嫌な思いも見逃さずに、早期にいじめの芽をつむように指導している。

小林校長：見守りと言葉かけなど子どもたちの中に入って踏み込んでいただけるとありがたい。早めにいじめを見つけて早期に対応していく必要があると考えている。何か気になる様子があったら学校と共有していただきたい。

瀬戸口委員：ルアンジュの第3公園で夕方のチャイムが鳴っても5年生が遊び続けている。声はかけるが踏み込めていなかった。子どもたちの声で住民等の迷惑になっている様子が気になる。

守谷委員：20人くらいいる。暗くなると、5～6人で輪になってゲームなどをしている。

小山内委員：子どもたちの遊び場がないのが気になる。周囲が暗くなっても遊びをやめないことが気になるので、帰宅時刻を考えないといけないと思う。

小林校長：子どもたちの遊ぶ時間については、教職員に改めて周知して指導していく。

佐々木教諭：今後も地域の皆様の見守りをお願いします。

(8) その他

海老名市学校保健会（第49回海老名市学校保健研究協議会）報告

海野委員：東柏体操を考案した。東柏体操の運用について地域でも考えていきたい。

海老名市CS（コミュニティ・スクール）連絡会について

小林校長：令和5年2月4日（土）に開催。参加可能な方は奥田教頭までお願いします。

えびなっ子スクール実施報告

橋本副委員長：11月に全学年、授業の中で行われました。事故なく、怪我なく終えることができた。授業の中で行うのは3年目になる。今後もより

よい運営になるようにしていきたいと思う。

(9) おわりに（学校運営協議会副委員長）

佐藤副委員長： 次回もよろしく願いいたします。

次回の学校運営協議会は、令和5年2月28日（火）16：15から開催予定。